



↑「海から出た如来像」を演じる6年生。

観客全てを魅了する伝説劇場

■萩間伝説劇場/萩間小学校

萩間小学校は11月13日、学年ごとに地域の伝説や歴史などを寸劇で紹介する「萩間伝説劇場」を同校体育館で開催。保護者や地域住民約300人の前で披露しました。

同劇場は、子どもたちの表現力を養うことや、地域の歴史を知って愛着を持ってもらおうと、約20年前から続いている同校の伝統行事です。

こととして最後となる6年生の演劇は「さすが」の一言。体を大きく使ったユーモアあふれる表現力は、観客全てを魅了しました。

誰も彼もが祭り気分になりしれる

■服織田神社祭典

服織田神社祭典は11月5日から3日間、開催されました。

毎年、屋台引き回しを当番制で行う祭典は、ことし、静波4丁目と10丁目当番。

4丁目の屋台はことし新調され、刺しゅう屋台幕や屋台電飾設備、発電機など10点は、財団法人自治総合センターの宝くじ助成金で整備されたものです。

開催中、笛と太鼓、威勢のある掛け声が響き渡り、誰も彼もが祭り気分になりしれました。



↑間夜に光り輝く、新調された静波4丁目町内会の屋台。

夢をあきらめずに挑戦して

■夢講話/相良小学校

相良小学校の夢講話は11月19日、同校体育館で行われました。

この講話は、社会で活躍する同校出身者に、夢を実現するためにはどうしたらいいかを話してもらい、児童それぞれの人生に生かしてもらうことを目的としています。

講演した全日空パイロットである川島辰哉さん(須々木区出身)は「夢をあきらめずに、小さな目標でも一つずつ越え、挑戦してください」と目を輝かせながら聴いている児童に語りかけました。



↑パイロットの仕事やバッグの中身についても話す川島さん。



↑マキティー(右)と熊本県人吉市マスコット(左)、夢の共演。

人気のあまり店舗に長い行列

■まきのはら産業フェア2010

市内産業の振興や紹介などを目的とする「まきのはら産業フェア2010」は11月14日、相良庁舎前駐車場で開催されました。

多くの来場者でにぎわったフェアは、市内の団体や事業所約80店舗がそれぞれに工夫を凝らし、地元物産の販売や事業紹介などを行い、人気のあまり長い行列ができた店舗もありました。

ことしは、富士山静岡空港開港1周年を記念し、就航先である熊本県人吉市や石川県小松市などがよりすぐりの特産品を販売しました。



↑貸与式でPHV「スイフトレンジ・エクステンダー」を説明する鈴木会長。

次世代エコカーで環境保全を

■PHV車貸与式

牧之原市は11月4日、本市白井に相良工場を置くスズキ株式会社から次世代エコカーのプラグインハイブリッド車(PHV)「スイフトレンジ・エクステンダー」1台を貸与されました。

この車は家庭用電源からバッテリーを充電でき、エンジンと併用して走ります。

市では通常運行のほか、青色パトロールや環境教室などで活用し、スズキの社会実験も並行して実施。

鈴木修会長兼社長は「このスイフトは相良工場で造った車。教育や社会福祉などで使ってほしい」と参列した子どもや関係者の前にあいさつをしました。

あいさつは人と人の懸け橋

■「青少年あいさつ運動」街頭キャンペーン

「静岡県子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、市教育委員会では11月1日、青少年健全育成の街頭キャンペーンを市内全ての小・中学校、高等学校で実施しました。

これは児童・生徒へのあいさつの奨励と指導を目的としたもので、民生委員児童委員や主任児童委員、健全育成推進委員らが参加。

榛原中学校では代表の生徒も参加。登校する生徒に対し、「おはようございます」と気持ちよく声を掛けていました。



↑登校する生徒に率先してあいさつをする生徒と推進委員ら。



↑来場者へのお茶試飲でにぎわう市茶業振興協議会ブース。

静岡牧之原茶を世界にアピール

■世界お茶まつり2010

世界お茶まつり2010は10月28日から4日間、グランシップ(静岡市駿河区)で開催されました。

市からは市茶業振興協議会が静岡牧之原茶に加え、紅茶やウーロン茶、プーアル茶といった発酵茶も呈茶。発酵茶は市内で採れた茶葉が使用され、それを試飲した人からは「癖がなくて飲みやすい」と好評でした。

このほか会場では、中国やスリランカなど世界各国からお茶が集り、お茶を楽しみにきた大勢の来場者でにぎわいました。

【訂正とお詫び】



広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報室 ☎(23)0044 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp